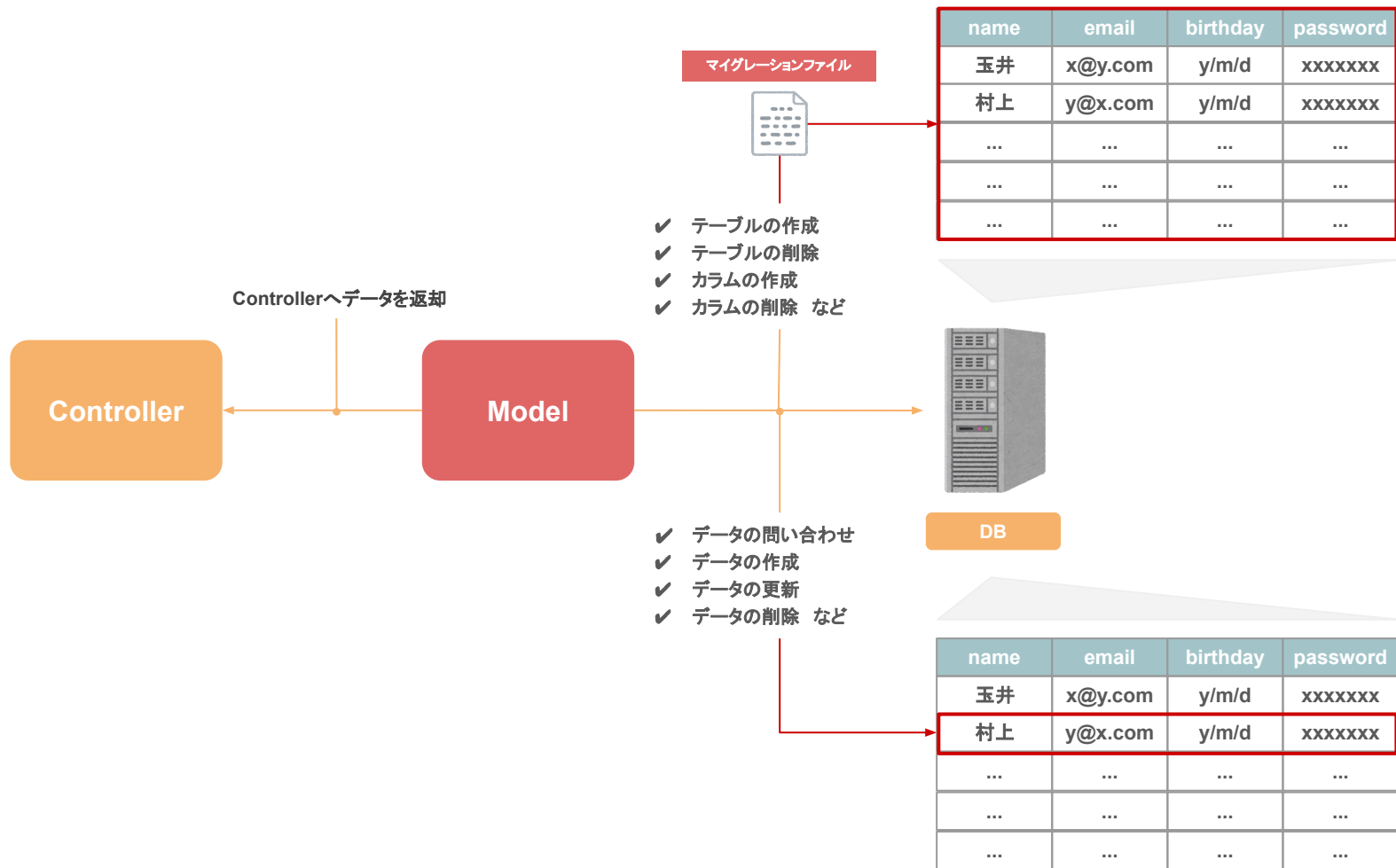




- ✓ **Model**は、**Controller**からの依頼を受け、必要なデータを DBへ問い合わせます
- ✓ **Controller**はユーザーからのリクエストを受け、必要なデータを **Model**へ依頼、それを **View**へ返却します(※ **Model**と**View**の橋渡し役のようなイメージです)
- ✓ **View**は**Controller**から返ってきたデータを踏まえて HTMLファイルを生じます
- ✓ MVC構造を採用することで、役割や機能ごとにファイルを切り分けることができ、開発効率や保守性が向上します



実行内容	コマンド	実行イメージ
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ Modelを作成します</li> <li>✓ Modelを作成すると、それに対応するテーブルのマイグレーションファイルも作成されます</li> <li>✓ カラム名、データ型を指定すると、それに沿ったマイグレーションファイルが作成されます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ rails g model { Model名 }</li> <li>✓ rails g model { Model名 } { カラム名 }: { データ型 }</li> </ul> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ rails g model User name:string</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ マイグレーションファイルのみを作成します</li> <li>✓ { マイグレーション内容 } を適切に定義することで、その内容に沿ったファイルを作成します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ rails g migration { マイグレーション内容 } { カラム名 }: { データ型 }</li> </ul> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ rails g migration AddNameToUsers name:string</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ マイグレーションファイルの中身を実行します</li> <li>✓ ファイルの中身によって、テーブルの作成/削除やカラムの追加/削除などが実行されます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ rails db:migrate</li> </ul>	